

関東 安値筋の修正値上げ散発 関東炉前総合価格 3品種とも小幅に上伸

(東京) 関東地区の鉄スクラップ市況は、製鋼メーカー安値筋の修正値上げが散発したことから、安値が切り上がる動きが続いた。また、湾岸商社・シッパー筋も安値修正を実施したこともあり、本紙調べの関東地区の炉前総合価格は、HS、H2、新断バラの3品種とも小幅に上伸することとなった。

関東地区の鉄スクラップ価格が、東海や関西地区に比べて安値に沈んでいること、韓国、中国向けの新規輸出価格が値上がりしたことで、安値の製鋼メーカーの入荷が落ち込んだ。このため、これら筋が鉄スクラップ購入価格を高値寄りに修正してきたことから、関東

市場では相場底打ち感が広がった。このためH2炉前実勢価格は、1トあたり3万4000~4500円中心、高値3万5000円見当となり、3万3000円台の購入価格が消えることとなった。

ただ、東北からの鉄スクラップ流入が依然続いており、全体的な余剰感は解消されていない。このため、関東市況は安値修正の域を出ておらず、様子見の推移が続いている。

6月第3週末(18日)のHS炉前総合価格は1トあたり3万7400円(前週比300円高)、H2は3万4300円(同200円高)、新断バラは3万9500円(同500円高)だった。

シマ商会(福島県南相馬市)、本社事務所で業務再開

(東京) 自動車リサイクル大手のシマ商会(本社=福島県南相馬市原町区、島一社長)は16日、本社事務所で業務を再開した。

同社は4月25日に本社ゆめ工場加工処理業務の操業を再開していたが、事務処理等の機能は避難先の新潟元気事務所(新潟県長岡市寺泊郷本)に移管したままであった。今回の本社事務所での業務再開により、

事務処理機能も本社事務所に戻し、本格的に業務を再開することになった。

全従業員の一日も早く震災前の状況に戻るという強い決意から今回の再開を決定した。



シマ商会 本社事務所棟

東京製鉄、7月の鋼材販価、全品種据え置き

(東京) 東京製鉄は20日、7月の鋼材販価を発表、全品種を5,000円引き下げた6月販価のまま据え置いた。全品種据え置きは、5月以来2カ月ぶり。

鋼材市場は東日本大震災後、閉そく感が深まっているものの、自動車産業を中心に需要回復が期待できるようになってきた。しかし、その一方で、中国の高水準の生産により、在庫が積み上がり、原材料高にも関わらず、鋼材市況は低迷を続けている状況だ。

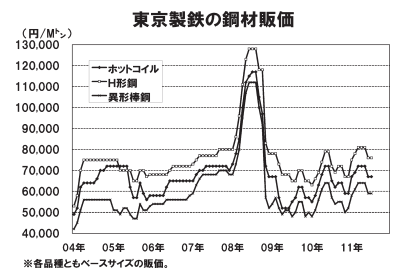
原料も鋼材製品も膠着状態となっていることから、同社は7月分の鋼材販価を据え置き、今後の市場の動

向を注視していく考えだ。

7月の主な鋼材販価は以下の通り。

◇ホットコイル、1トあたり6万7000円(ベースサイズ)、◇

H形鋼、同7万6000円(同)、異形棒鋼、同5万9000円(同)。



中古鉄屑処理機械の仲介専門サイト
中古ギロチンどっと混む
<http://www.chuukogirochin.com>
 (携帯 <http://chuukogirochin.com/i>)

機械を売りたい 中古機械を
買いたい

納得の価格で
売れました 思った時期に
安く買うことが
できました

ライズマテリアル株式会社
 〒101-0048 東京都千代田区神田司町2-7
 TEL(03)5282-1230 FAX(03)5282-1231

地球の未来を担うリサイクル技術
YAMANAKA

本社 〒212-0012 川崎市幸区中幸町3-3-1 Tel.044(522)1161
 工場 川崎・横浜・大和・綾瀬・相模原・多摩・市原・戸田・
 栃木・騎西・白井・高崎・藤沢・仙台・小名浜・山形・
 北上・秋田・郡山